

## パイプオルガン演奏と ソプラノで近現代曲を

13日「夕の祈り」



ソプラノの歌唱とパイプオルガンによる近現代曲のコンサート「夕の祈り」が13日、名古屋・栄の愛知県芸術劇場コンサートホールである。ソプラノは名古屋女子大教授の岡真里子（写真）、オルガンはドイツで教会オルガニストの経験がある吉田文（同左）。

「ミヨー」「5つの祈り」、ドイツのヨハネス・ドリースラー「宗教的協奏曲作品47」など。溝上日出夫、三ツ石潤司といった日本人の作品も取り上げる。いずれも実演機会が少ない曲で、岡は「音で天と地の空間を表現したい」と話す。午後6時45分開演。3千円。☎二宮音楽事務所 電052(505)0151

この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て転載しています